

カラダを拡張する光

あなたは、体中の感覚を呼び覚ますようなパフォーマンスを体験したことはありますか？
心地よくもあり、刺激的でもあり。あっという間に舞台の中へと引き込まれてしまう――
そのような体験は一体どのように生み出されているのでしょうか。
そのとき光は、私たちにどのような影響をもたらしているのでしょうか。
本企画では、表現の最前線を担う3名の講師をお招きし、
3つの要素『演者・空間・視覚』の視点からその答えをひも解きます。

日時 2020年 2月21日(金) 14:00~16:30 (13:30 受付開始)
会場 代官山ヒルサイドテラス ヒルサイドプラザ 東京都渋谷区猿樂町 29-10

東急東横線 [代官山駅] 下車 徒歩3分
東急東横線・地下鉄日比谷線 [中目黒駅] 下車 徒歩7分
JR山手線・JR埼京線・地下鉄日比谷線 [恵比寿駅] 下車 徒歩10分



狂言師 (じゅっせ みやけとうくろう)
十世 三宅 藤九郎

簡単な
実演が
あります

狂言和泉流十九世宗家・故泉元秀の次女、3歳での初舞台、15歳で人間国宝・故九世三宅藤九郎の名跡を継承。
全国公演の他、12カ国30数都市で公演。米国で英語狂言プロジェクトの芸術監督や、内閣府事業で渡米し狂言ワークショップを計10州15都市で実施するなど国際的な活動を行う。



照明デザイナー
平山 和裕

90年代からライブ、演劇、ダンス、舞踏の現場で活動し、サカナクション、FISHMANS、EGO-WRAPPIN'、clamm Bonn、KING GNU などミュージシャンとオーディエンスと空間を繋ぐ照明デザイナーとして、活動。ジャンルを問わず多様なアーティストのツアーに参加。



東京大学大学院 准教授
笥 康明

研究者、メディアアーティスト。東京大学大学院情報学環准教授。博士(学際情報学)。先端技術を駆使し、物理素材や身体性を拡張するインタフェース研究や作品制作を行う。国内外での展示などアート・デザイン・工学領域を横断する活動を展開し、ACM CHI Best Paper Award、科学技術分野の文部科学大臣表彰若手科学者賞、グッドデザイン・ベスト100など受賞。



参加費 会員、通信教育受講者：1,000円、非会員：2,000円、学生：500円

申込方法 照明学会 HP 及び照明学会誌にて応募要領を掲載

定員 100名(事前申込み、受付先着順、定員に達し次第締め切り)

主催 (一社) 照明学会 東京支部 <http://www.ieij.or.jp/shibu/tokyo/>
〒101-0048 東京都千代田区神田司町 2-8-4 吹田屋ビル 3階
TEL : 03-5294-0101 / FAX : 03-5294-0102 / E-mail : tokyo_b@ieij.or.jp



クロス・トーク WEB ページ